

不思議の国より (No.9) (2026.7)
「平和チャリティコンサート」 Alice(西東京)

ふつう、講演会とくれば 1:30~4:00が定番と思うが、こちらは熱が入り、5時近くなることが多い。6/6 の茨木のり子生誕100年の時もそうであった。

6/20 の多摩地区での「平和チャリティコンサート」も二部立てで、前半は東大大学院江守正多教授の「気候の危機にどう向き合うか」で、淡々とこの危機を乗り越える必要性を説かれたのに対し、後半の伊藤千尋さんは、冒頭「昨日まで入院していた為最後まで持つかどうかわかりませんが?!」と前置きしながら「もしかしたら遺言?!」とこちらも身構えるほど大迫力で「世界の平和と現実」を熱弁された。

即ち武器や銃があるから殺戮が起こる。米は民主党も18歳までは銃規制するが、それ以上は OK。イスラエルは旧約聖書をたてに自分たちの土地を主張、「パレスチナ人は人間の顔をした獣だ」とこども時代から教える。当日はミャンマー合唱団の歌もあったが、軍隊がクーデターを起こし、その軍隊を支援しているのは日本。我が国も急速に軍事化が進み来春を目途に改憲発議を言い出す始末。今年の防衛予算は9兆円越え、米の言いなりに増やして中国の47兆円に勝てるか? あちらの兵力は日本の8倍。

敵を作るのはナチスのプロパガンダと同じ誘導尋問だ。今なすべきは「平和な世界の創造」。ニュージーランドは世界初の非核国家(1987年)で公用語は英語とマオリ民族語、それを成し遂げたのは一人の女性ケイト・デューズから。彼女は「広島

2026年 第7回
平和チャリティコンサート
in 多摩 音楽と講演の集い

日時 **6月20日(土)**
開場 13時 開演 13時半

会場 **小金井宮地楽器大ホール**
武蔵小金井駅南口2分

入場券 2500円 前売券 2000円
学生、障害者 1000円

カンパ先: ミャンマー支援団体、グリーンピース
取り扱い: 小金井宮地楽器大ホール
電話: 042-380-8077

<オープニング>
歌 Dona Nobis Pacem (平和をわれらに)
すべての人の平和を願い
ピアノ 柳田みどり
ギター 門間愛輝 小林彰文 小島修
司会: 春口富子

<第一部>
挨拶: 飯高京子

講演「世界の平和と現実」
国際ジャーナリスト 伊藤千尋

ミャンマー合唱団の歌
指揮 ラズン・ノーサン・ビンセント
ビルマの竖琴演奏
***** 休憩 *****

<第二部>
講演「気候の危機にどう向き合うか」
東大大学院教授 江守正多
質疑応答あり

みんなで歌おう憲法9条の歌
閉会の挨拶: 関 伸子

伊藤千尋さんプロフィール
1949年山口県生まれ。東京大学法学部卒業。1974年、朝日新聞に入社。サンパウロ支局長、パルセロ支局長、ロサンゼルス支局長などを歴任。40年にわたり国際報道の分野で取材を続けた。2014年に朝日新聞退職後もフリーのジャーナリストとして各国の取材を続け、これまで世界42カ国を現地取材した。「コスタリカの平和の夜」共同代表。「戦争の夜」の世話人も務める。

江守正多さんプロフィール
1970年神奈川県生まれ。東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。現在、東京大学未来ビジョン研究センター教授。専門は地球環境化の将来予測、気候変動のリスク評価、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書、気候変動に関する専門的な知見を、一般にも利やすく解説する「気候変動のおじさん」としてメディア等で活躍している。

主催: 多摩 Pacem の集い 後援: 小金井市教育委員会
連絡先: Tel:090-8112-4636
プログラムは変更になる場合があります。

犠牲者に捧げる哀歌」を聴き、ヒロシマ・ナガサキから教育されたという。(筆者注: ちなみに NZ の非核の港は「非核神戸方式」から影響を受けた)。南極の平和利用を定めた南極条約(1959年)は日本国憲法前文と9条が反映されている。憲法9条が世界の非核運動の原点である事は明白だ。

コスタリカは1949年軍隊をなくしそのお金を教育にあてた。一人ひとりが平和を作ろうとするコスタリカ:1. 自分との平和、2. 他人との平和、3. 自然との平和を。今は市民運動が政治を変える時代:韓国では1970年代軍事政権で街頭デモが禁じられる中ロウソクデモで抵抗、それが民衆総決起につながり歴代大統領弾劾に寄与した。ロウソクがペンライトに持ち替えられ、今日本でも若者や子ども連れの女性参加の集会が膨れ上がっている。アイスランドの1975年の「女子の休日」では9割の女性が参加、17年連続ジェンダー平等指数世界一だ。「きたない！」と言われた水俣は「愚痴を自治に変えよう」「ないモノねだりでなくあるモノ探しを！」と職員が奮起し最低の公害都市が最高の環境都市へ生まれ変わった。

人間がいる、私たちの力で変える。と一人ひとりの力が世界を変える未来に希望のあるお話でした。終わりに「**第九で第9(条)を歌おう**」の歌詞が配られ皆で力強く歌って意気高く散会した。